

群馬工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	化学 I	
科目基礎情報							
科目番号	1K001			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	物質工学科			対象学年	1		
開設期	前期			週時間数	4		
教科書/教材	教科書：化学基礎：東京書籍 問題集：リードα化学基礎+化学：数研出版 図説：最新図説化学：第一学習社						
担当教員	峯野 知子						
到達目標							
物質の状態（気体，液体，固体）について理解することができる。 物質量（モル）の概念を理解し，これを用いて実用的な計算ができる。 原子の構造および電子配置と周期律の関係を理解できる。 酸塩基反応や酸化還元反応の基本的な考え方や法則を理解できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		物質の状態について理解し説明することができる。		物質の状態について理解することができる。		物質の状態について理解できない。	
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		物質工学科における学習での最も基礎になる化学について学習する。					
授業の進め方・方法		座学，講義の進度に応じて視聴覚素材を使用する。					
注意点							
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	化学と人間生活				
		2週	物質の探求（1）				
		3週	物質の探求（2）				
		4週	物質の探求（3）				
		5週	原子の構造と元素の周期表（1）				
		6週	原子の構造と元素の周期表（2）				
		7週	原子の構造と元素の周期表（1）				
		8週	原子の構造と元素の周期表（2）				
	2ndQ	9週	原子の構造と元素の周期表（3）				
		10週	原子の構造と元素の周期表（4）				
		11週	原子の構造と元素の周期表（5）				
		12週	原子の構造と元素の周期表（6）				
		13週	原子の構造と元素の周期表（7）				
		14週	原子の構造と元素の周期表（8）				
		15週	中間試験				
		16週	物質量と化学反応式（1）				
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0